諏訪が初優勝・秩父シニア

コロナ禍により秩父限定版

歴代優勝クラブ
第　１回　川本
第　２回　川本
第　３回　川本
第　４回　川本
第　５回　大沼
第　６回　江南
第　７回　川本
第　８回　川本
第　９回　川本
第１０回　越生
第１１回　そよかぜ
第１２回　大沼
第１３回　中止
第１４回　諏訪

秩父ペタンク界への永きにわたる功績を称えて
諏訪・小山川選手、月峰・原選手に大埜会長より
表彰状が贈呈されました
秩父のペタンクを今日にリードされたお二人です
令和３年６月２７日（日）荒川グラウンドにて

審判団

優勝　諏訪Ｃ　太幡菊男、小山川健次、吉野光男

２位　諏訪Ｆ　山中輝義
新井久子、浅見正

３位　上黒谷Ｂ　関根嘉子
宮谷伸雄、浅見ミヨ子

規則改正説明会メモ　（主な改正ポイント３つを改めて列挙してみました）
秩父地区をスタート地点にして、川本・上尾・坂戸地区と続く、規則改正説明会が開催されました。秩父地区での説明会は、コロナ禍ということもあり一堂に会しての実施は困難なため、１７日には県柳澤審判部長を講師にお迎えし、受講者２０名、３０日には秩父地区Ｂ級審判員を講師として、受講者１４名で実施。

① ６条関連　ビュット権が相手に移行、置かれたビュットが有効でない場合には置いた選手に３５条罰則を適用、**この違反を繰り返した場合には、既にある罰則に加え、新たにチーム全体にも罰則を適用する**

② ７条関連　ビュットは障害物並びに**短辺の無効ラインの最も近い境界から５０㎝以上**離れていなければならず、**他で使用中のサークルおよびビュットからも１.５ｍ以上**離れていなければならない（**注：コートを区切るコートラインまたは長辺の無効ラインからは離す必要はない**）

③ ３３条関連　第１メーヌはビュットが投げられたときに、その有効無効にかかわらず開始されたものとみなす。**第２メーヌ以降は前のメーヌの最後に投げられたボールが停止した時に、次のメーヌが開始されたものと見なす。**※留意すべきは、今までのようなビュットではなく、ボールである点でしょう

編集後記
６月には２つの大会が開催されましたが、年度当初からの諏訪の好調が続いています。クラブ対抗戦では二つのブロック優勝、秩父シニアでは秩父ＯＰと同様に諏訪同士の決勝戦対決となりました。次回の七夕杯以降年度後半にかけて、いずれのクラブがこの流れにストップをかけるのか、興味深いところです。　　浅見

歴代優勝クラブ

第１回　大沼　参加数　９クラブ

第２回　大沼　参加数１２クラブ

第３回　大沼　参加数１０クラブ

第４回　諏訪Ａ　中寺尾Ａ　諏訪Ｂ

※　今大会はブロック別優勝です

クラブ対抗戦は諏訪と中寺尾が制す

Ｖｏｌ２６

参加クラブ数１５　参加チーム数２１　Ａ～Ｃ　ブロック単位のリーグ戦

勝利のポイントは、シングルス・ダブルス・トリプルス振り分け方法？

秩父ペタンク通信

秩父郡市内外のペタンク情報をより多く

七月号　令和三年七月七日発行

市連盟広報部　浅見恒夫

写真・文　太幡勝徳・浅見恒夫

Ａ及びＣブロック優勝　諏訪

Ｂブロック優勝　中寺尾

全ブロック２位　大沼

Ａブロック３位

レインボー

Ｂブロック３位

さくら

Ｃブロック３位　陽野

愛泉会

はなみの郷

東町

熊倉

上黒谷

わかやぎ

月峰

大野原

上寺尾

審判団